

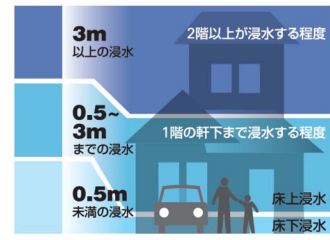
浸水深マップ

みやだにいけ
宮谷池

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために宮谷池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

この地図では、浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

浸水の深さ



避難経路の安全性

- 特に危険な区域 (ため池堤防)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水通行は危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水通行には注意が必要

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

- 土砂災害(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害危険箇所
- 土砂災害(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

凡例

- 指定緊急避難場所 災害が発生するおそれがある時や災害発生時に、緊急的に避難し、身の安全を確保する場所
- 指定避難所 災害発生時に、被災者が一定期間滞在することができる施設等
- 避難所(敷地)
- 消防屯所
- 防災行政無線(スピーカー)



いざという時に備えて、あなたの家から避難所までの経路や、災害時に危険となる箇所を確認しましょう。避難勧告などが発令された場合や、身の危険を感じたら、この地図を参考にすみやかに避難してください。

防災メモ

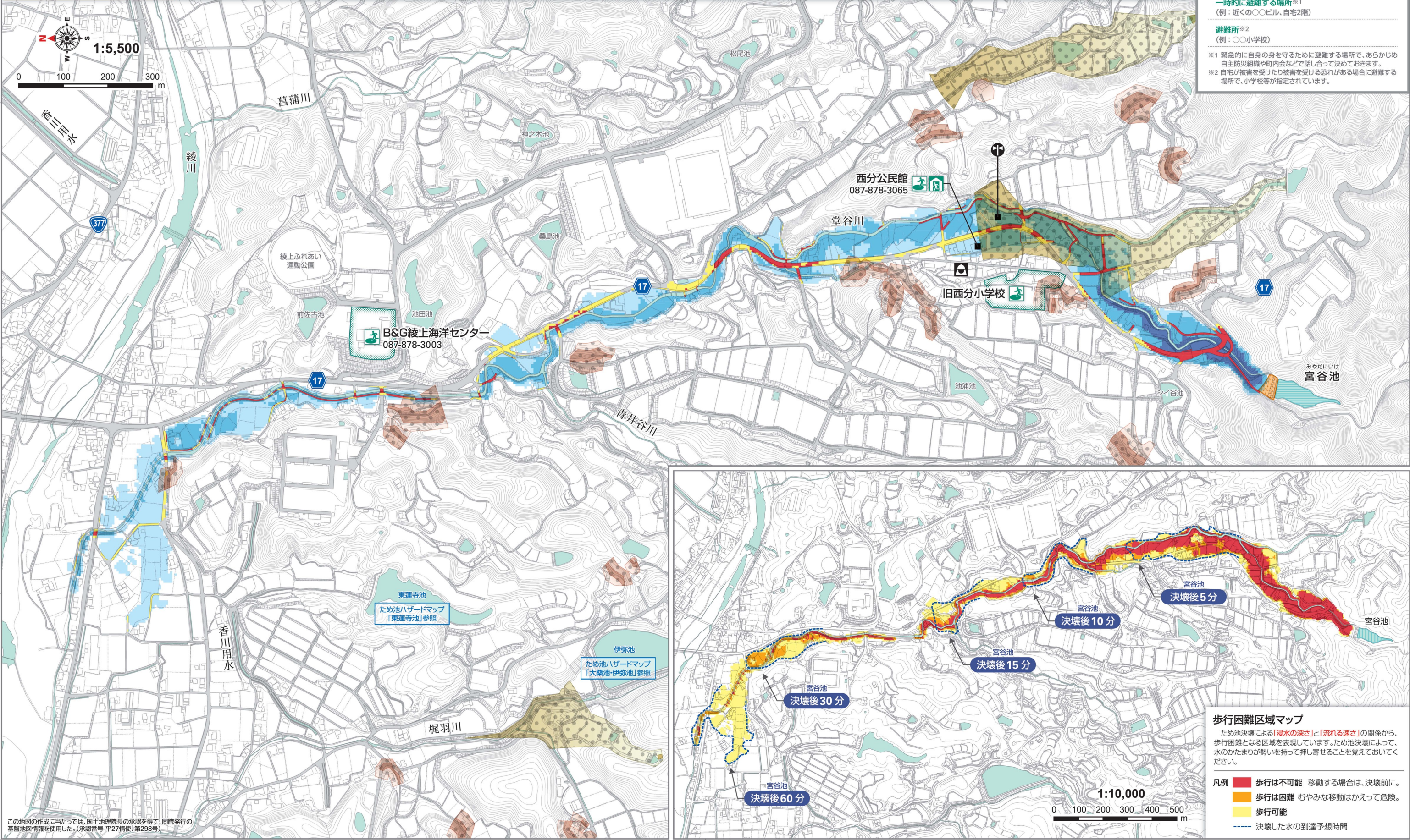
あなたの家で予想される浸水の深さはどれくらいですか？
☐ 3m以上 ☐ 0.5~3mまで ☐ 0.5m未満

ため池決壊のときに避難する場所を決めておきましょう。

命を守るために一時的に避難する場所※1
(例：近くの〇〇ビル、自宅2階)

避難所※2
(例：〇〇小学校)

※1 緊急的に自身の身を守るために避難する場所で、あらかじめ自主防災組織や町内会などで話し合っておきましょう。
※2 自宅が被害を受けたり被害を受ける恐れがある場合に避難する場所で、小学校等が指定されています。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第298号)

歩行困難区域マップ

ため池決壊による「浸水の深さ」と「流れる速さ」の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。ため池決壊によって、水のかたまりが勢いを持って押し寄せるとを覚えておいてください。

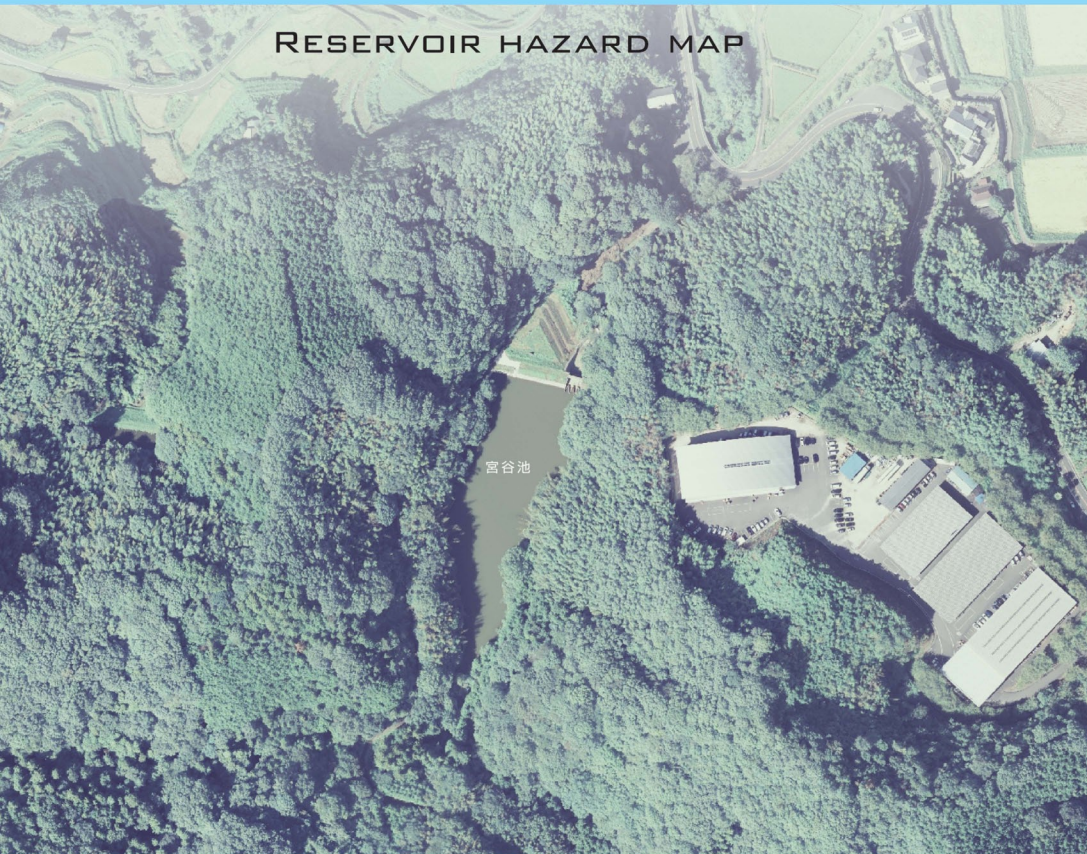
- 歩行は不可能 移動する場合は、決壊前に。
- 歩行は困難 むやみな移動はかえって危険。
- 歩行可能
- 決壊した水の到達予想時間



ため池ハザードマップ【保存版】

みやだにいけ
宮谷池

RESERVOIR HAZARD MAP



● 宮谷池が決壊し、
全ての貯水量が瞬時に流出する状況を
想定しています。

● 浸水の深さによって、避難方法は異なります。

- 歩行 浸水しない場所（避難所、道路、空き地など）
- 徒歩 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 徒歩 自宅にとどまる

● いざという時の連絡先（TEL）

綾川町	防災担当	087-876-1906
警察	事件・事故の通報	110（局番なし）
消防	火事・救助・救急	119（局番なし）
災害用伝言ダイヤル	災害時の安否確認	171（局番なし）

● 防災情報メール（登録無料）

☎ <http://info.bousai-kagawa.jp/>
避難勧告などの情報が、登録しておくだけで携帯電話のメール等へ自動的に配信されるサービスです。
これまでの「避難情報配信サービス」をリニューアルし、平成26年4月から「防災情報メール」の配信を始めました。避難情報配信サービスをご利用になられていた方も、改めて登録が必要です。

綾川町

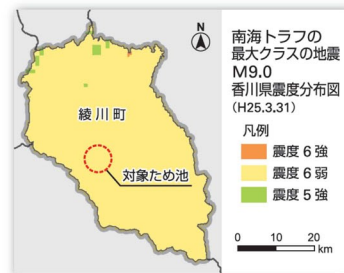
作成／平成 28 年 6 月 綾川町 経済課
〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮 299 番地

ため池決壊について知ろう

ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

本マップの対象ため池周辺では、南海トラフの最大クラスの地震によって震度 6 弱の揺れが予測されています。
また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。



大雨

集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇することで、ため池決壊のおそれがあります。

ため池決壊の起こり方と、その被害

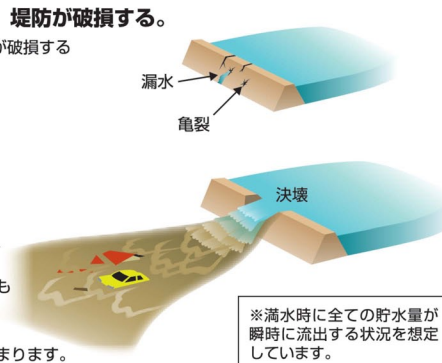
① 南海地震や直下型地震で、堤防が破損する。

（地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。）

② 破損した堤防が、
貯水に耐え切れず「決壊」

③ ため池決壊による被害

- ・大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- ・山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

災害事例

写真出典：Yahoo! JAPAN 東日本大震災 写真保存プロジェクト
<http://archive.shinsai.yahoo.co.jp>

地震 ― 福島県須賀川市 ―

東北地方太平洋沖地震（平成 23 年 3 月 11 日）による震度 6 弱の揺れで、藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者 8 名を出す被害となりました。

- ・長時間の強い揺れによって、地震直後に決壊。
- ・田植え前で満水状態であった貯水が、全て流出した。
- ・下流の集落に濁流となって押し寄せた。

堤防（約 130m）がほぼ全域で決壊した。

大雨 ― 香川県 ―

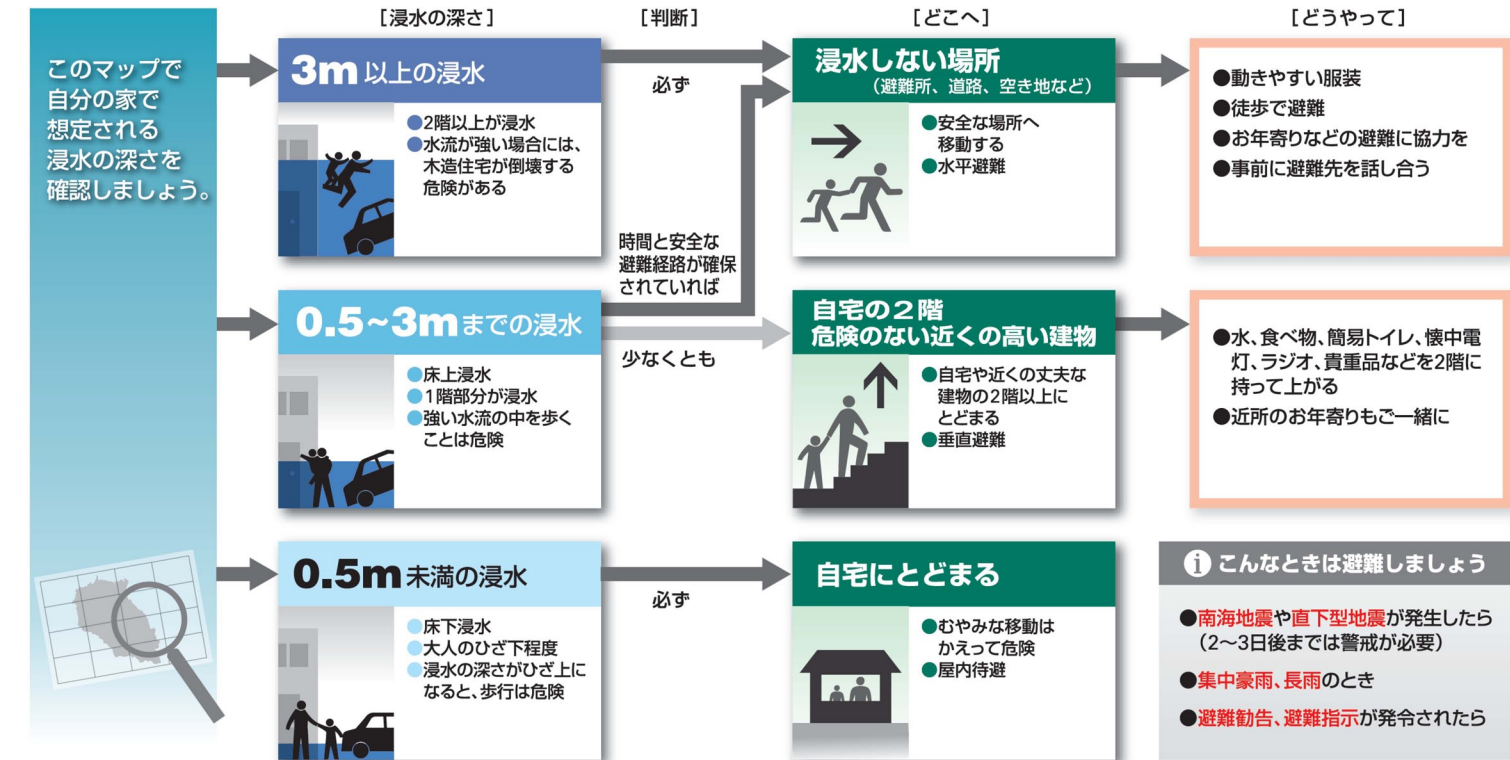
近年、香川県では大規模ため池の決壊による被害は出ていませんが、未改修の中小規模のため池を中心に、堤防に亀裂が入るなどの被害が出ています。

状況に応じた避難をしよう

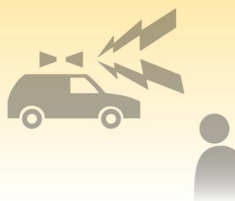


ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ 命を守るための基本行動

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。



町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう



避難情報を入手するときの注意事項

地震のあと

被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。

そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に自体に対応しましょう。

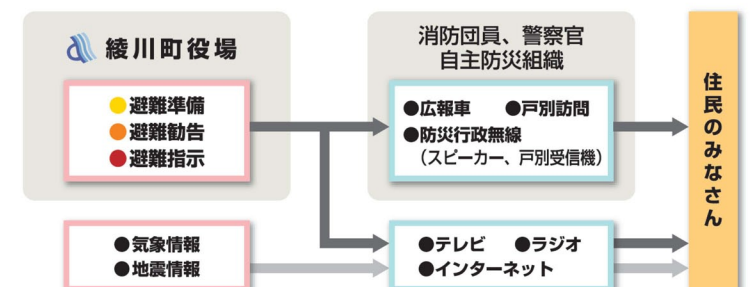
大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。

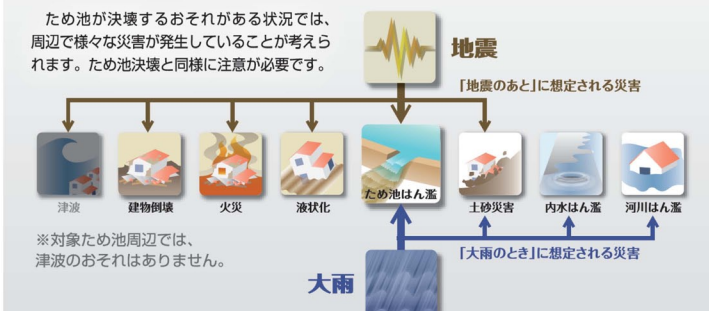
テレビやラジオなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

避難情報の伝達経路と内容

避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。また、避難情報には、緊急度に応じて3つの種類（避難準備・避難勧告・避難指示）があります。



ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害



※対象ため池周辺では、津波のおそれはありません。

あらかじめ非常持出品を準備しましょう

